

# 日本子ども家庭福祉学会通信

## 第41号

2020年3月発行

Japanese Society of Child and Family Welfare

No.41

### 日本子ども家庭福祉学会 第21回全国大会のお知らせ

#### 1. 開催日時, 場所

2020年6月6日(土), 7日(日)

#### 2. 大会テーマ

大会のテーマは「インクルージョンの現在と未来」です。国連が採択した、2016年から2030年までの国際目標である「持続可能な開発のための2030アジェンダ: Sustainable Development Goals: SDGs」では、前文、宣言で「誰一人取り残さない」との語が繰り返し示されています。そして、宣言8では「人種、民族及び文化的多様性に対して尊重がなされる世界」に向かって取り組むとしています。この概念は、インクルーシブな社会の構築、といえるものであり、日本の子ども家庭福祉においてもその重要度は増しています。

インクルージョンという概念は、障がい、ジェンダー、性的多様性など幅広い対象に関わりますが、本大会では外国にルーツをもつ子ども家庭に焦点をあてます。グローバル化の進展、そして定住外国人の増加とともに、子ども家庭福祉の領域も、外国にルーツを持つ子ども家庭の育つ権利、生きる権利をどのように保障していくべきか、という課題に直面しています。こうした問題意識のもと、大会1日目には「子ども家庭福祉とインクルージョン—国籍、文化の壁を崩して実現すべき平等とは何か」と題する基調講演を予定しています。移民問題、外国人の子どもの問題に造詣の深い識者にご講演いただくとともに、シンポジウムで

は保育・教育・児童家庭福祉における多文化共生やインクルージョンについて、研究者、行政機関、そして地域でのNPOでの支援実践、それぞれのお立場より、インクルージョンに関わる実情や実践などについて発言いただき、子ども家庭福祉におけるインクルージョンの現在、そして未来のあり方についてともに考える機会としたいと思います。大会第2日目は、例年通り、各分科会にて自由研究発表を行います。子ども家庭福祉の新たな知見を議論することで切磋琢磨し合うとともに、研究者・実践者の交流をはかっていく機会としていただければ幸いです。

#### 3. プログラム

第1日目 6月6日(土)

11:30 - 受付開始

12:30 - 13:00 民間団体活動推進調査事業成果報告会

13:00 - 13:30 総会

13:30 - 13:40 開会式

13:45 - 14:55 基調講演(公開)

『子ども家庭福祉とインクルージョン—国籍、文化の壁を崩して実現すべき平等とは何か』

宮島 喬氏(お茶の水女子大学名誉教授)

15:10 - 17:10 シンポジウム(公開)

『インクルージョンの現在と未来—多文化背景をもつ子ども家庭の支援と包摂』

・内田千春氏(東洋大学ライフデザイン学部教授)

・石井素恵氏(川口市子ども部保

育入所課指導係主査)

- ・栗林知絵子氏(豊島子ども  
WAKUWAKU ネットワーク理  
事長)

17:30 - 19:00 懇親会(8号館1階 Tres Dining)

第2日目 6月7日(日)

8:40 - 受付開始

9:00 - 12:00 分科会「自由研究報告」

12:00 - 13:00 休憩

13:00 - 16:00 分科会「自由研究報告」

#### 4. 参加費

	大会参加費		懇親会費
	事前受付 (5/11まで)	当日 受付	
会員	4000	5000	5000
非会員	5000	6000	5000
公開プログラムのみ	1000	1000	5000

#### 5. 学会参加及び自由研究報告の申し込み方法

学会ウェブサイト(3月下旬より公開予定)より、参加申し込み、及び自由研究発表の申し込みを行ってください。

**【重要】**本大会につきましても、コロナウィルスの感染拡大に伴う中止や延期の可能性がございます。また、参加費及び徴収方法なども継続的に検討しており、今後変更の可能性もあります。詳細は随時学会ホームページおよび全国大会専用ホームページにて掲載いたします。ご不便をおかけして申し訳ありませんが、こまめにホームページにてご確認くださいませようよろしくお願ひ申し上げます。

〈お問い合わせ〉

(参加登録に関すること)

株式会社コムラ「日本子ども家庭福祉学会第21回全国大会」係 担当:湯口・後藤

〒501-2517 岐阜県岐阜市三輪ぷりんとぴあ3

TEL: 058-229-5858 (平日9:00~17:30) E-mail: jscfw21@kohmura.co.jp [ @は半角にして下さい ]

(その他大会に関すること)

日本子ども家庭福祉学会第21回全国大会事務局

事務局長 南野奈津子(東洋大学)

事務局 泉谷 朋子(東洋大学)

E-mail: kodomokatei2020@gmail.com [ @は半角にして下さい ]

#### 入会審査について(理事会からのお願い)

自由研究報告を行うためには、筆頭者だけではなく共同報告者全員も「会員」である必要があります。理事会では、大会での口頭発表申込のタイミングで入会を希望される方にあわせ、全国大会での口頭発表申込締切日以前に、入会審査が完了するように進行管理をしています。

しかし、本通信40号の中でもご報告しましたように、会員でない方がまず発表を申し込み、その後、会員となることを申請するケースがおられます。「入会審査を経てから発表申込をする」という手順にしたがっていないと、口頭発表ができなくなることもあります。口頭発表をお考えの方は、本通信がお手元に届き次第、学会ウェブサイト「入会のご案内」をご覧ください。4月9日(木)までに入会申込を行ってください。

#### 20周年記念シンポジウムの開催報告

本通信第40号でも報告しました通り、2019年10月6日(土)、立教大学池袋キャンパスにおいて学会設立20周年記念シンポジウム「子ども家庭福祉における子ども・保護者・家庭の位置づけ～家庭依存体制からの脱却と新たな公共システムの創生を目指して～」を実施いたしました。本号では、その続報として、アンケート結果の一部を紹介いたします。ご登壇いただいた先生方、ご出席いただいた皆様、そしてアンケートを通して貴重なご意見をお寄せいただいた方々に、この場を借りてお礼申し上げます。

・子ども家庭福祉における「公共」システムの創生に向けた、これまでの過程や今後の展開について、シ

ンポジストの先生方の多様な意見をうかがうことができ、大変勉強になりました。

- ・子どもの福祉に関する制度や政策がつくられる背景にあるものは何かを考え、見ていくことの必要性が感じられました。当事者としての子どもの意見をしっかり反映していくことがこれから求められると思いました。
- ・新しい公共システムは、公と共との関係性のあり方を当事者である子どもの視点から問い直すことにより、見えてくるのではないのでしょうか。それと地域包括支援という行政側の働きとどう結びつくのかを考えることが必要と思います。
- ・新しい公共システム、家族依存体制の脱却は、この国で可能なのでしょうか？
- ・子ども家庭福祉の現場の専門家の養成をどのように行っていくのか、多職種連携の推進をどのように行っていくかをテーマに開催してほしい。

## 2019年度日本子ども家庭福祉学会 第2回理事会 議事録

場 所：国際文献社本社

日 時：2020年2月21日(金) 14:00~15:10

出席者(敬称略)：林浩康, 相澤仁, 川松亮, 木村容子,  
山本真実, 澁谷昌史

欠席者(敬称略)：網野武博, 小林理, 倉石哲也, 増  
田まゆみ, 山野則子, 湯澤直美

### 1. 審議事項

#### (1) 研究助成事業の審査

- ・「2020年度民間団体活動推進調査研究事業」に対して応募のあった4件について、あらかじめ各理事より提出された審査結果に基づき、上位3件(「社会的養護におけるファンクショナルタッチケアプログラム(FTP)の開発：タッチからはじまる養育者と子どもとの心の通い合い」/「子どもの貧困対策における学習支援の効果に関する研究—子ども家庭福祉の観点から—」/「児童養護施設における自立支援—地域の独自性を活かした自立支援コーディネーターの制度構築とその成果—」)を採択した。

- ・なお、例年2件を採択していたが、今回は上位3件がほぼ同点であったため、3件の採択とした。ただし、これに伴い当該事業への支出額が大幅に増加することのないよう、採択者に対しては申請額の8割の助成を行うこととした。

#### (2) 理事・監事選挙の実施と結果について

- ・理事・監事選挙が実施され、総投票数94件であり、前回選挙時の投票件数よりも増加したとのことであった。
- ・理事・監事選挙の結果については、2020年度第1回理事会及び総会時に報告し、あわせて次期役員体制についての承認を得ることとした。

#### (3) 第21回大会の開催について

- ・大会校より提出された資料に基づき、開催趣旨及び概要について審議を行い、大会校の意向に即して開催されることを了承した。
- ・第22回大会については、林会長から関西方面の大学に打診を行い、第21回大会には公表できるように準備を進めることとした。

#### (4) 入会審査、退会者について

- ・申請のあった4名すべてについて入会を承認した。
- ・2017年度からの3年未納者リストについて確認し、このまま未納状態が続けば、3月末日付で退会処理を行うことを承認した。

#### (5) 国際文献社との委託契約に関わる事項について

- ・機関誌の奥付について国際文献社より確認があったため、11月末日として回答することとした。
- ・国際文献社への委託費用案に基づき審議を行い、原案通り、1,058,200円(税込)で来年度の事務委託を行うことを承認した。

#### (6) 次回理事会(2020年度第1回)の開催について

- ・2020年6月6日(土)10時30分より、東洋大学白山キャンパスにて行うこととした。

### 2. 報告事項

- (1) 20周年記念シンポジウム「子ども家庭福祉における子ども・保護者・家庭の位置づけ～家庭依存体制の脱却と新たな公共システムの創生を目指して」の実施報告
- ・2019年10月6日(土)に立教大学池袋キャンパスにて、出席者約60名を得て実施されたことの報告

があった。

(2) 学会誌の表紙の変更について

- ・昨年度から継続して審議してきた結果として、今年度から学会誌の表紙が変更になったことの確認があった。

(3) 編集委員会より

- ・小林担当理事から書面にて報告があり、編集担当者の退職に起因して『子ども家庭福祉学』第19号の発刊に遅延が生じた事情が確認されるとともに、第19号は13本の投稿があり、4本が採用になったこと、第20号の原稿募集は第19号の発刊遅延を考慮して2020年2月末としていることの確認がなされた。

(4) その他

とくになし。

**入退会者**

**2019年10月1日～2020年2月29日までの新入会員**

大塚 恵子	福井市役所
福井 充	福岡市こども未来局
山中 徹二	大阪人間科学大学
後藤 沙希	高崎健康福祉大学大学院
大嶽 さと子	学校法人越原学園 名古屋女子大学
中村 雅子	帝京大学
吉川 恭子	武庫川女子大学大学院 臨床教育学研究科 臨床教育学専攻
福間 麻紀	北海道医療大学

**2019年10月1日～2020年2月29日までの退会者**

岡本 妙子

〈編集後記〉

- ・新型コロナウイルス（COVID-19）により困難な状況におられる方々の早期回復等を心よりお祈り申し上げます。
- ・感染症対策は、子どもたちの生活にも大きな影響を及ぼしています。大規模災害の件も含め、こうした非常事態を子どもと保護者がどのように経験してきたのか、本学会としても考えなければならない時期に来ているのかもしれない。
- ・第21回全国大会では、外国にルーツをもつ子ども家庭にとっての「国籍、文化の壁」がどのようなものであるかを学ぶ機会が提供されます。知のアップデートを図る貴重な機会として楽しみにしています。
- ・全国大会や総会に関して予定を変更する場合があります。全国大会については全国大会専用ホームページをご確認ください。
- ・学会費（2019年度）のお振り込みがお済みでない方は、速やかにお振り込みをお願いいたします。会費の納入状況は「マイページ」でご確認いただけます（<https://www.bunken.org/jscfw/mypage/>）。パスワードのお問い合わせは、学会事務局にメールでお願いします。
- ・2019年度は、調査研究費を助成する特別企画に加え、20周年記念シンポジウムを実施しました。特別企画についてご要望等がございましたら、どうぞご連絡ください。 (S)

日本子ども家庭福祉学会通信 第41号

発行日 2020年3月31日

発行人 林 浩康

編集人 澁谷 昌史

発行 日本子ども家庭福祉学会事務局

〒162-0801

東京都新宿区山吹町 358-5

アカデミーセンター (株) 国際文献社

Tel: 03-6824-9371 Fax: 03-5227-8631

e-mail jscfw-post@bunken.co.jp